

令和8年6月 19 日(金)開催

川根本町力又一普及協議会
会議記録

会 議 記 録

- 1 会議の名称 令和8年度川根本町カーヌー普及協議会
- 2 会議日時 令和8年6月19日(金) 午後6時00分 ～ 午後7時00分
- 3 開催場所 本川根 B&G 海洋センター ミーティングルーム
- 4 出席した者の名前
 - (1)委員 山本和正会長、筑地秀昭副会長、堤孝俊委員(代理 豊島宏)
上野俊裕委員、戸塚崇委員(代理 下嶋恵)、佐野順二委員、
浅羽祐介委員(欠席)、西澤孝仁委員(欠席)
 - (2)執行機関 (事務局)社会教育課 課長 中村裕好
社会教育課 主幹 小長谷常夫
 - (3)その他 傍聴者なし
- 5 議題
 - 1 委員委嘱
 - 2 令和7年度の取組み状況(実績)について
 - 3 令和8年度の取組み状況(計画)について
 - 4 その他
- 6 会議資料の名称
令和8年度川根本町カーヌー普及協議会 次第
- 7 発言の内容

○開会(事務局)

本日はお忙しい中、令和8年度川根本町カーヌー普及協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日進行を務めさせていただきます社会教育課の中村です。本会議は川根本町附属機関等が開催する会議の公開、及び会議録の公表に関する要綱に則り、会議録の作成及び公表をさせていただきます。会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。まず、当協議会 山本会長よりご挨拶をいただきます。山本会長お願いいたします。

○会長あいさつ

(会長) こんにちは。お仕事でお疲れのところお集まりいただきありがとうございます。遠方からもありがとうございます。それでは円滑な議事運営にご協力をお願いします。

○協議事項

(1) 委員委嘱

(事務局) 議事に入ります前に、委員の委嘱をさせていただきます。資料の 3 ページをご覧ください。当協議会設置要綱第 3 条第 2 項第 2 号の規定により選出されていた一般社団法人エコティかわね様が令和 7 年度をもって解散され、委員に欠員が生じたため、接岨湖で SUP ツアーガイドを行っている『水の音 SUP クラブ』代表の浅羽祐介氏を推薦させていただきます。

浅羽氏は SUP ツアーガイドを始めて 5 年、うち 3 年は接岨湖をメインに通年活動されています。接岨湖の事情に精通されており、カヌーではないもののパドルスポーツのカテゴリーであり、特に普及については経験豊富であることから委員に推薦します。なお、任期は当協議会設置要綱第 4 条の規定により前任者の残任期間とし、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとします。本日、所用により欠席されておりますので、委嘱状は私共の方からお渡ししたいと思います。

それでは、協議事項に移ります。川根本町カヌー普及協議会設置要綱第 6 条第 1 項により、会長が会議の議長となることから、ここからの議事については山本会長の進行でお願いいたします。それでは会長、お願いいたします。

(2) 令和7年度の取組み状況(実績)について

(事務局) 続きまして議事に入ります。議事進行は会長をお願いします。

(会長) 協議事項(2) 令和7年度の取組み状況(実績)についてお願いします。

(事務局) 資料説明(海洋センター)

(委員) 資料説明(川根高校)

(委員) 資料説明(県カヌー協会)

(委員) 口頭で活動内容を説明(町スポーツ協会)

(会長) 口頭で活動内容を説明(町スポーツ推進委員連絡会)

(委員) 口頭で活動内容を説明(まちづくり観光協会)

(3) 令和8年度の取組み状況(計画)について

(会長) 協議事項(3) 令和8年度の取組み状況(計画)についてお願いします。

(事務局)

今年、水上アクティビティフェスという企画を立案しています。神奈川県丹沢湖で開催されているレースがあり、私も毎年参加しています。そのようなものを接岨湖で

できればと思います。県カヌー協会、町スポーツ協会と相談してそれが出来ればと思っていますが、いかがでしょうか。

(委 員)(県カヌー協会)

他の事業と絡めて事業を打った方がいいと思います。指導する人を手厚くして安全面に配慮します。川根高校の協力ができない。艇については B&G の艇を全体の 8 割くらい使用します。人気があるのは二人乗りの艇で、親子で乗ったりするとカヌーって楽しいとなる。用具と、指導する人を整えることが、企画で一番悩むところになってくると思います。アクティビティ体験フェスとうまくリンクできればと思います。

(事務局)

丹沢湖でやってるレースについてですが、現在、接叡湖でやってるレースといえば、高校のレースぐらいしかない。丹沢湖の場合に艇種を問わないで、カヌーや SUP が混ざって行います。大体 200 人から 250 人くらい集まりますので、その賑わい方も素晴らしいものです。そのレースは丹沢湖で 27 回、27 年続いています。歴史があって、こんなに需要があるなら、ここでも出来たらと思います。

(委 員)(県カヌー協会)

レースの距離はどのくらいですか。

(事務局)

5キロと 10 キロです。

(委 員)(県カヌー協会)

スプリントレースではなく、ディスタンスレースですね。

(事務局)

ディスタンスレースです。例えば平田にスタート地点を設けて、レインボーブリッジの橋脚を回って 4 キロから 5 キロほど取れると思います。接叡湖でできたらと考えます。

(委 員)(県カヌー協会)

県カヌー協会と、町スポーツ協会とで相談させていただき、できるようでしたら是非やらせていただきたいと思います。その大会に近い例でいえば、千葉県で 1 月に開催される大会がある。「この時期、ここ接叡湖に来ればこのレースがある」というのが定着すると、全国から参加者が来る。子供が参加できるようにして欲しい。子供が参加すると親が必ず来るので、観光関連が潤うはず。紅葉の時期は観光客が多いので、それを避けて、空いている時期に開催してはどうか。県カヌー協会も機会がないと最近動員が難しい。協会の理事も多少高齢化していますが、「これあるから絶対ちょっと来いよ」と動員する。理事は皆、指導ができる人たちです。逆に僕らも集まる機会に協会内の人の輪もできる。そういう意味でも私、頑張りますので、是非よろしくお願いします。

(会 長)

連絡を取り合い、周囲を巻き込みながら、出来ればいいと思います。例えば、県

新人大会兼少年少女大会を抱き合わせてみてはどうか。

(事務局)

そのように考えています。

(会 長)

それなら無理がないと思います。

(委 員)(町スポーツ協会)

県民スポーツフェスティバルの指導者について、川根高校のカヌー部同窓会、OB が、去年も来てくれました。川根高校カヌー部 OB をもっと集めれば、現役の生徒の負担は減る。OB だったらカヌーの指導ができる。そのようにして引き上げたらと思う。いま、OB は何人くらいいますか。

(委 員)(川根高校)

50 人くらいかと思います。連絡について振興会会長の風間氏を通じて広げてもらうとかは多分できると思いますが、直で全員繋がってるわけではない。

(委 員)(県カヌー協会)

OB で県カヌー協会の理事を務めてくれている人もいます。そういう人たちを活用すれば川根地域のカヌーも盛り上がると思う。何か事を起こす場合は、結局は人と人との繋がりが全てになってくる。

(会 長)

情報、連絡は結構取れますのでいろんな手段で、周辺を巻き込みながらやっていけば、結びつき、リンクできればと思います。

(事務局)

令和 8 年度の取り組み状況・計画について説明。(別冊令和 8 年度パドルスポーツのまちづくり実施計画書、水上アクティビティ体験フェス企画書、同チラシ)

(会 長) 続きまして海洋センターをお願いします。

(事務局) 資料説明(海洋センター)

(委 員) 資料説明(川根高校)

(会 長) 質問がありましたらお願いします。

(委 員)(県カヌー協会)

まず、川根本町社会教育課で、ここまで魅力ある提案があることに対して、敬意を表したいと思います。先日、県カヌー協会の理事会の総会がありました。協会の名誉会長は天野です。天野会長は『今、少子化あるいは地方がだんだん弱ってる時代にある中で、カヌーは将来が決して暗くない。なぜかという、自然と関わるということは人生を豊かにする。つまりカヌー自体をしっかりと安全管理をしながら、活動していくことは、必ずその参加者や高齢者など、どの世代に貴重な体験になる。カヌーは人生の 1 ページにもなり得る。』

小さな時から体験させてあげると、その子は絶対それを一生忘れないでカヌーに対して必ず戻ってくるよ』とおっしゃっていました。そのチャンスを川根本町社会教育

課は与えているんだと。だからぜひ、『誇りを持って県民にそれを提案することが大事だよ』と言っていました。それが地域の住民や子供たちに本当に大きなメッセージになる』とおっしゃっていました。あとはその理念は非常に良いので、周りでいかに協力するか、カヌー協会は全面的に協力、やれる限りしますよってことを伝えてください。全部やろうと思ったら上手いかないかもしれないので、中の一つ、まず一つ、みんながコラボレーションして成功して、それでいろんなところに、特に観光なんかも潤ってくればいいじゃないですか。そこをぜひ。天野会長の代弁ではないですけど、本当にそういうことをこないだ理事会に参加して感じました。以上です。

(会 長)

おっしゃる通り、我々含め地元の人間がまずこれを理解というか、目を通せるような形で『よし』という意気込みができていけば。事務局がこれ素晴らしいもの作ってくれたと思います。今この話を聞いて、かなりイメージというか、接岨湖が持つ自分の中のビジョンが見えたので、現実的に展開できるように協力したいと思います。

(事務局)

補足させていただきます。水上アクティビティ体験フェスについて2点あります。1点は、当日スタッフとして川根高校カヌー部もお願いしていて、一緒にやりましょうということで現在、豊島先生に調整いただいております。企画書の方の4ページにイベント開催概要について記載があります。大変誠に申し訳ないですが、共催の方に接岨地区河川空間利用調整協議会、これがミズベリング事業の協議会になります。これに川根本町、まちづくり観光協会、カヌー普及協議会、ここに接岨湖湖面利用協議会、町スポーツ協会、町スポーツ推進委員連絡会を共催ということで入れさせていただきました。チラシにはこれが入っており、カヌー協会が入っておりませんが、県カヌー協会の方もご協力いただけるってことで承りました、ありがとうございます。これで進めさせていただきます。また当日、どんなことやって頂けるかをお聞かせ頂ければと嬉しいです、参加していただけると嬉しいです。お待ちしております。

(会 長)

いずれにしてもリーダーシップというか、先陣を切ってやってくれる人がいないとかなかなかどんな事業もそうだと思います。第一歩を踏み出していただいているように感じます。ぜひ協力させてもらいたい。

(委 員)(まちづくり観光協会)

昨年から『ミズベリング事業』を観光協会ではじめて、長島ダム(接岨湖周辺)で、お土産の販売と、観光案内させていただいてました。今年も同じような形で、今度7月三連休から始まります。そういった中でお客さん来た時に、おそらく町内の方だと思いますが、平田でカヌーの大会をやる時に、町の出店者さんたちがマルシェみたいな形で、町の特産品とかを売って、川根本町のいいところ、美味しいものに直に触れ合ってもらえれば。という話を聞いて。そういうことを観光協会が、カヌー大会があるから、お店を集めてそこに店出させていただく話をしてもいいのかどうか。ぜひ、お聞かせください。

(会 長)

先日、そのようなお話がありました。

(委 員)(川根高校)

本当にお願いしたくて、直近で言うと 8 月 29 日の土曜日の県新人大大会と接岨湖少年少女カヌー大会の時に、広場中心にマルシェとかキッチンカーさんとか来てもらえないか。キッチンカーじゃないと多分できないと思いますが、そういう形で来ていただけたら、来場された方が食べれる場所を提供し、かつカヌー大会を見てもらえる。カヌー振興会の方の事業として、スプリントクラブの方を独自化で自力運営できるようにするために基金集めをしたくて、地元企業さんからの寄付をお願いし、広告効果としても高く認知してもらえるようになれば更なる寄付に繋がっていくのではないかなと思います。とにかく今年中に一回やってみたくて、もし可能であれば 8 月 29 日やりたいです。どうすればいいですか？

(委 員)(まちづくり観光協会)

持ち帰って、確認します。

(委 員)(川根高校)

助かります。よろしくお願いします。

(委 員)(県カヌー協会)

以前、静岡国体の修了後、全日本ジュニア大会を何回か接岨湖で開催しました。その時は結構そういうお店も出してもらって繁盛しました。人出も、選手だけでも 300 人から 400 人くらい集まって、来場者はその倍くらい来てました。しかも地元出身選手が優勝して、地元もそれすごい誇りに思いました。そういう時もありましたので、だんだんと盛り上がっていくといいです。

(会 長)

マルシェブームみたいなのがあります。マルシェとカヌーを見てもらうという相乗効果で。定着してイベント化されていくと非常にいいと思います。よろしくお願いします。

(事務局)

アクティビティフェスの時も同じような形にしますので、フェスで実証します。

(会 長)

丹沢湖のレースに参加が原動力になりますよね。これは絶対楽しいと思います

(副会長)

お話も出ましたが、20 数年前になります、大井川に水を流そう、呼び戻そうという運動がありました。そしてその後、平成 8、9 年あたりからカヌーの国体開催に向けて動き出して、平成 15 年にわが町で国体が開催されました。ここにおられます県カヌー協会と、その時担当していた中村課長が川下り大会というのを催しました。その中にカヌーのイベントとしてカヌーで川を下りました。両国から千頭駅前を終点としてカヌーでの川下りを行いました。そのような普及活動が、一番目に付くと思います。また、カヌーもカラフルで意外と目を引きます。そのような自然とこの学び合い、触れ合いというイベントもいいんじゃないかなと思います。この水量であれば安全で問題はないのかなと

と思いますが、両国から千頭あたりまでの自然と触れ合うイベントで、その時には河川美化を兼ねた活動というのも、一つ来年以降でも組み入れればよいのではないかと思います。以上です。

(事務局)

会長ありがとうございました。熱心な意見交換ができ有意義な時間だったと思います。ありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和8年度川根本町カヌー普及協議会を終了させていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。

上記に相違ないことを確認する

川根本町カヌー普及協議会 会長 山本和正